

一般質問

○高齢者が安心して暮らせる介護保険について
○自然エネルギーの地産地消について



千田 美津子

質問 特別養護老人ホームの待機者など、介護保険の現状について伺います。また、6月に成立した改定介護保険制度は、市町村格差の拡大、介護職員による医療行為の解禁、軽度者からの介護取り上げなどの課題がありますが、これについて市長の見解を伺います。

市長 特別養護老人ホームへの入所待機者の解消が課題となっております。在宅で早期に入所が必要な方は154人となっています。また、改定介護保険は、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを進めることとされています。総合事業は、サービスの質の確保など、懸念される声もありますが、今後国の情報を的確に把握検証しながら、利用者にとって適正なサービスとなるよう進めて参ります。

質問 福島第一原発事故による放射能汚染問題は、多方面に大変な被害と影響を及ぼしており、原発事故はその被害が「空間的にはどこまでも広がる可能性があり、地域社会の存続さえ危うくする」、他の事故には見られない異質の危険が指摘されています。このよう

なことから、太陽光や中小水力、地熱、風力など、今こそ自然エネルギーの利用を増やし、地域自給という方向を明確に打ち出していくべきと考えますが、市長の見解を伺います。

市長 東日本大震災を契機に、地方においてもエネルギー政策の転換が注目されています。当市においては、豊富な資源があり、木質バイオマスや米エタノール化などが実証実験されていますが、実用にはなお高いハードルがあります。今後しっかりと模索する事は重要だと考えます。

○土壌の放射能除染について
○教育予算の配分について



高橋 政一

質問 学校等の放射線量の高い場所では早い除染が必要ですが、1マ



学校施設での除染作業（赤生津小学校〈前沢区〉）

イクロシーベルト／hの根拠をどうとらえているか伺います。市が行っている除染の方法と、作業時のマニュアルは作られているか伺います。また除染作業の課題について伺います。学校等に簡易測定器を配布し、敷地内の測っていない所や通学路の測定もすべきですが、その考えがあるかどうか伺います。

市長 文部科学省が許容値としている1マイクローシーベルト／hを超える場所について、水による洗浄、表土の除去、覆土を行っています。除染の方法は、日本原子力開発機構や福島県災害対策本部の検討結果や手引きを参考にしています。汚染土の管理・処理方法が

示されていないため、防水シートなどで覆い暫定的に仮埋設するしかないのが課題です。マニュアルについては早めに作成します。通学路の測定も早めに実施に向けた検討をしていきます。学校等に対する簡易測定器の配置についてはしっかりと検討していきます。

質問 図書購入費や特別支援教育支援員の配置予算が基準財政需要額に達しない理由について伺います。

教育委員長 学校図書費は、各学校の蔵書の状況に応じて重点的な予算の配分をするなど、学校図書館の環境づくりに取り組んでいきます。支援員については1日4時間で基準財政需要額を算出していますが、1日6時間で年間すべての授業日の勤務を確保しています。

○農畜産物の販売について
○角塚古墳について



藤田 よしなり

質問 平成22年度産米の販売状況について伺います。

市長 当市の両農協においては、既に契約先が決まっていることがか